

情報提供・相談支援部会

- 4－1． がんに関する臨床試験および希少がん
に関する情報提供と相談支援
- 4－2． 相談支援に携わる者に対する研修

- 4－1． がんに関する臨床試験および希少がん
に関する情報提供と相談支援

■施設で取り組んでいること（主な記載事項）

- 当院の治験管理センターと共同当院の院内がん登録と共同国がんシステムパイロット活用にて対応・連携
- 国がんと連携
- 連携協議会臨床試験部会を設立し協議中
- 国がんシステムパイロット活用にて対応・連携（希少がんについて）

課題や話し合いたいこと（11意見）

- 施設内あるいは県内の治験ネットワークの有効活用ができていない(1)
- 臨床試験、希少がんの情報に限らず、県内の地域拠点病院から情報を集約し、共有する体制を整えたいが、手法の面で困難を感じている。他の都道府県における取り組み事例について具体的に知りたい。(6)

＜国立がん研究センターで実施中の希少がんの情報提供・相談支援について＞

- 希少がんに関して国立がん研究センターで行っている情報提供と相談支援について、参加医療機関の提示、テスト運用の具体的な内容、希少がんの定義を提示してほしい。データベースの本格的運用については、参加機関の同意を得た後運用を開始してほしい。(1)

＜検討の上、現在の対応方法＞

- 治験管理室に直接患者さんが相談できる窓口を設置することも考えたが、医療相談に対応していると、治験を行いたいというニーズの裏に、病状が悪化していくことへの不安や主治医への相談ができない等他のニーズが隠れていることがあるため、まずはがん相談支援センターで話を聞き、内容によってCRCなどへ繋げるようにしている。(1)

課題や話し合いたいこと（11意見）

＜今後の対応としてお願いしたいこと＞

- 一元管理を国立がん研究センターで管理し、それを情報提供するといった形が望ましいのではないか。(1)
- 情報提供に時間を有することがあり、患者が望む情報を早く伝えることができる体制の整備をお願いしたい。(1)

がん情報サービス「がんの臨床試験を探す」 のDBの施設からの検索（検討・作成中）

独立行政法人国立がん研究センターがん対策情報センター
がん情報サービス ganjoho.jp

① 既存の臨床試験データベースからのアプローチ：
・医療機関から臨床試験を検索できるようにする
*ただし既存の臨床試験DBの登録情報には漏れがある

② 施設側からのアプローチ：
・研究倫理審査委員会の情報を活用して、施設で行っている臨床試験を診療科別に表示（NCC中央/東病院にて構築中）

→ ①②の双方向からのアプローチにより、網羅性をもった、より迅速な臨床試験情報の公開・提示ができないか

院内がん登録を活用：
各都道府県拠点の相談支援センターで
利用可能な検索システム

施設別症例数検索システム

施設ID:

パスワード:

ログイン

Copyright © 独立行政法人国立がん研究センター

相談支援センターから、インターネット上でアクセス

システム開発：がん政策科学研究部
東 尚弘 担当

検索画面

施設別症例数検索システム

検索条件

症例数の検索条件を設定してください。

★ 部位・組織型

- 診断年: 2009 ~ 2011 年
- 部位: 乳腺
- 組織型: ☒ 指定なし
- 性状コード: ☐ 0: 良性 ☐ 1: 良悪性不詳 ☐ 2: 上皮内癌 ☒ 3: 悪性

❏ 患者条件

- 性別: ☒ 指定なし ☐ 男 ☐ 女
- 年齢: ~ 歳

❏ 診療条件

- 症例区分: ☐ 診断のみ症例(1) ☒ 診断・治療共に自施設(2) ☐ 他施設診断・自施設治療(3) ☐ 他施設治療開始後に来院(4) ☐ 副検で発見(5) ☐ その他・不明(8)
- ステージ/TNM分類: ☐ 治療前ステージ (UICC) 指定なし ~ 指定なし ☐ 治療前TNM分類 (UICC) T分類: 指定なし ~ 指定なし N分類: 指定なし ~ 指定なし M分類: 指定なし ~ 指定なし ☐ 総合ステージ (UICC) 指定なし ~ 指定なし ☐ 総合TNM分類 (UICC) T分類: 指定なし ~ 指定なし N分類: 指定なし ~ 指定なし M分類: 指定なし ~ 指定なし

❏ 病歴条件

- 病歴名: [閉じる]
- 都道府県: [閉じる]
 - 東北・北海道すべて: ☐ 北海道 ☐ 青森 ☐ 岩手 ☐ 宮城 ☐ 秋田 ☐ 山形 ☐ 福島
 - 関東甲信越すべて: ☐ 群馬 ☒ 埼玉 ☒ 千葉 ☒ 東京 ☒ 神奈川 ☐ 山梨 ☐ 茨城 ☐ 栃木 ☐ 新潟 ☐ 長野
 - 東海・北陸すべて: ☐ 富山 ☐ 石川 ☐ 福井 ☐ 岐阜 ☐ 静岡 ☐ 愛知
 - 近畿すべて: ☒ 三重 ☒ 滋賀 ☒ 京都 ☒ 大阪 ☒ 兵庫 ☒ 奈良 ☒ 和歌山
 - 中国・四国すべて: ☐ 鳥取 ☐ 島根 ☐ 岡山 ☐ 広島 ☐ 山口 ☐ 徳島 ☐ 香川 ☐ 愛媛 ☐ 高知
 - 九州・沖縄すべて: ☐ 福岡 ☐ 佐賀 ☐ 長崎 ☐ 熊本 ☐ 大分 ☐ 宮崎 ☐ 鹿児島 ☐ 沖縄

※単独指定の場合は左側のプルダウンのみ指定してください。
範囲指定の場合は選択項目のインデックスが左側 < 右側になるように指定してください。

● 手術療法/内視鏡的治療の有無: ☐ 手術療法: 指定なし ☐ 内視鏡的治療: 指定なし

7

検索結果

結果参照

検索条件

【診断年】: 2009 ~ 2011年、【部位】: 乳腺、【性状コード】: 3: 悪性
【性別】: 男
【症例区分】: 診断・治療共に自施設(2)、他施設診断・自施設治療(3)

対象件数: 27件

病院名	症例数	都道府県	市・区	番号 (代表)	番号 (相談支援室)
大阪府立中央病院	21	大阪	大阪市東区	06-6644-56 (内線: 56)	06-6644-466
東京府立中央病院	10	東京	東京都中央区	03-3568-11 (内線: 11)	03-3568-293
大阪府立中央病院	8	大阪	大阪市東区	072-6644-21 (内線: 21)	072-6644-237
栃木県立中央病院	6	栃木	栃木県宇都宮市	028-262-11 (内線: 85)	028-262-107
栃木県立中央病院	6	栃木	栃木県宇都宮市	028-262-31	028-262-484
東京府立中央病院	6	東京	東京都中央区	03-3568-11 (内線: 11)	03-3568-196
愛知県立中央病院	6	愛知	愛知県豊田市中区	052-833-11 (内線: 88)	052-833-306
岡山県立中央病院	6	岡山	岡山県岡山市	086-251-11 (内線: 2617)	086-251-11
熊本県立中央病院	6	熊本	熊本県熊本市	096-222-15 (内線: 15)	096-222-15
北海道立中央病院	5	北海道	北海道札幌市	011-222-11 (内線: 11)	011-222-231

1 2 3

これまでの経緯

平成25年

5月 研究スタート、NCC倫理審査承認

8月 各施設にデータ利用の可否を問い合わせ

10月頃～ 特殊な癌の相談ががん情報サービスSCに数件

平成26年

3月 検索システム完成、テスト開始

4月 全国6施設で試行開始、研究→事業への移行

5月 データ利用の許可についての変更意思確認

がん登録部会で経緯を報告

6月 相談支援分会で経緯を報告

今後：

7月 2012年診断症例のデータ組み込み

9月 都道府県拠点の相談支援センターで利用開始（希望施設）

9

予定：相談支援システム利用研修会

日時：平成26年9月4日 13時-16時

場所：国立がん研究センター管理棟1F特別会議室

対象：都道府県がん診療連携拠点病院

相談支援センター相談員 1名

がん登録実務者 1名 ずつ

説明内容：システムのセットアップ方法（セキュリティ）

システム運用に方法について

（参加者は県内の運用体制のサポートをお願いします）

10

システム運営上の留意点

- 院内がん登録の限界やルールの十分な理解が必要
 - 新規診断／受診の数だけしかカウントされない
 - ステージがUICC、治療は初回治療のみ
 - 精度の十分な検証は未確立
 - がん登録担当との協力のもと理解を
数字を過信しないで（一定の誤りの可能性）
- 希少がんが主対象だが、数の多いがんも検索可能
 - 数の多いがんでは意義は少ないことを理解いただく
- 登録は過去のデータ（最低2年前）

11

謝辞

試験運用にご協力の施設に感謝いたします（地理順北から）

北海道がんセンター

宮城県立がんセンター

信州大学医学部附属病院

神奈川県立がんセンター

九州がんセンター

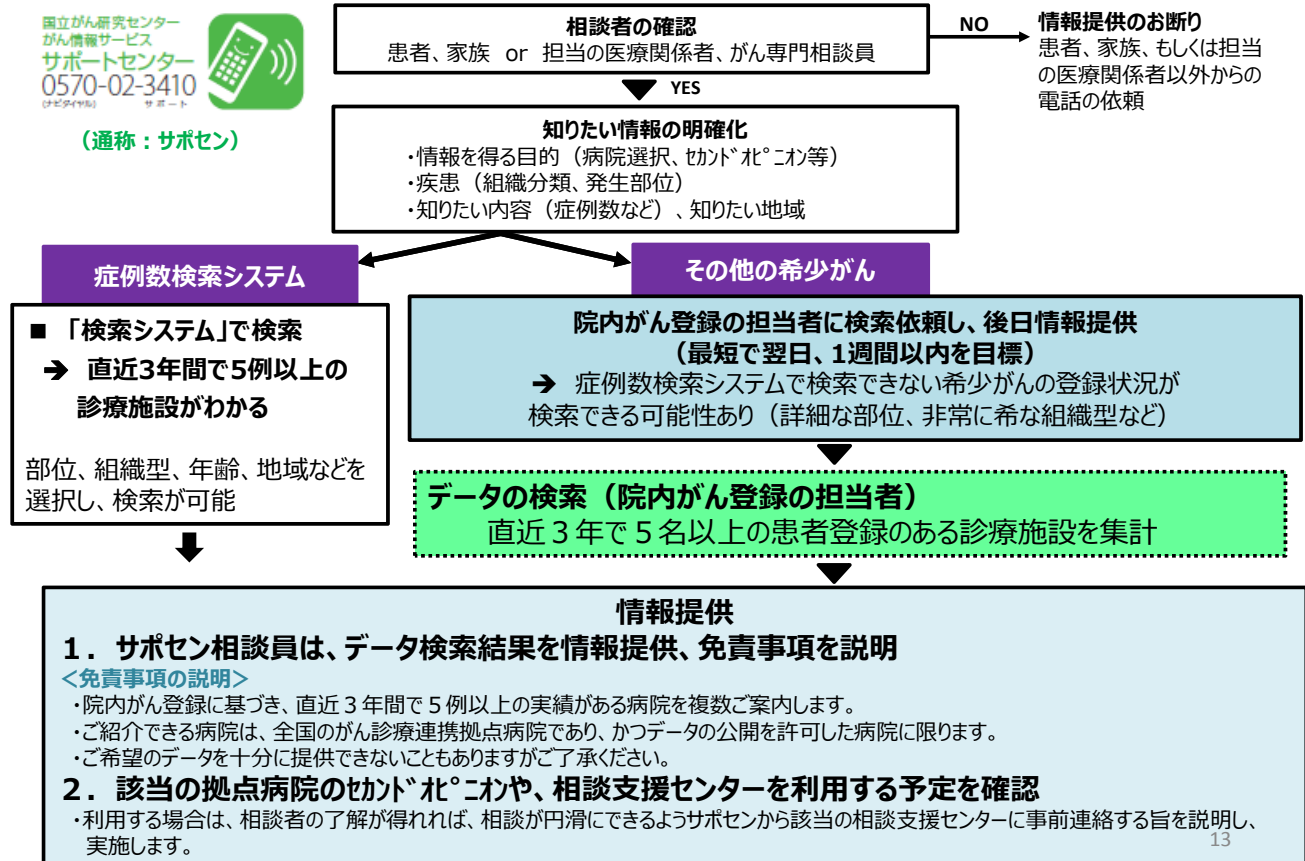
鹿児島大学医学部附属病院

国立がん研究センター中央病院・東病院

がん情報サービスサポートセンター

12

がん情報サービスサポートセンターでの希少がん診療施設の情報対応フロー



4－2．相談支援に携わる者に対する研修（新要件 P16）

- ・ 回答病院数 46 （回答都道府県数 44）
- ・ 実施あるいは計画中 … 41都道府県

相談支援に携わる者に対する研修 (各都道府県での取り組みとして算出)	都道府県数
すでに研修を実施	29
計画中	12
実施できていない（困難）	1
不明	2
合計	44

課題や話し合いたいこと（18意見）

- ・ 人事異動等による指導者確保も含め、**長期的な研修の企画運営について検討していく体制が十分とれない状況**（1）
- ・ **病院側の理解が得られにくい**という状況があり、指導者研修会への参加、地域で開催する**研修会への参加が困難**な状況になっている（4）
- ・ スキルアップの研修会、研修を受講した職員を現場でどのように**スキルアップさせるかが課題**（2）
- ・ **研修後の質の評価**についても課題（1）
- ・ **他県の状況を知りたい、参考にしたい、「系統的な研修」の見本を参考にしたい、社労士の活用について情報交換したい**（4）
- ・ 業務が増え続けている状況であり、**研修を含め人員が不足、適切な人員配置の検討を求めたい**（4）
- ・ その他意見（2）：
 - － 地域全体としてがん医療を底上げする目的で意図的に開催する必要がある。
 - － 相談支援WG内での役割分担が必要

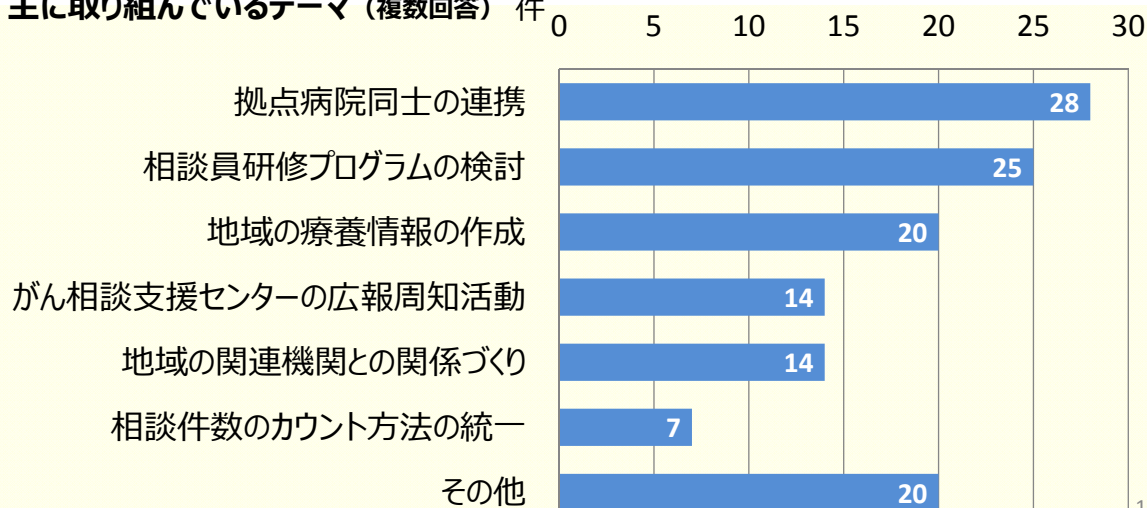
① 都道府県がん情報提供・相談支援に関わる検討会等の活動についてのアンケート（資料5参照）

- 調査目的：各都道府県のがん情報提供・相談支援に関わる検討会等の活動状況についての把握
- 調査時期：2013年11月～12月
- 調査対象と方法：47都道府県がん拠点病院に対し、質問紙調査

1）がん情報提供・相談支援に関わる検討会等（がん診療連携拠点病院連絡協議会情報提供・相談支援部会等）の設置状況

設置済 42/47都道府県

2）主に取り組んでいるテーマ（複数回答）件



がん情報サービス：指導者研修会修了者用ページ

独立行政法人国立がん研究センターがん対策情報センター
がん情報サービス ganjoho.jp

このサイトの使い方 お問い合わせ サイトマップ

一般の方へ 医療関係者の方へ がん診療連携拠点病院の方へ

がん診療支援 研修・セミナー 院内がん登録 がん相談支援センター 都道府県拠点病院連絡協議会

TOP > がん相談支援センター > がん相談支援センター相談員研修会向けページ > 全都道府県の相談員研修会の取り組み > 広島県相談員研修会の取り組み

広島県相談員研修の取り組み

更新日: 2014年06月17日【更新履歴】 掲載日: 2014年06月17日

位置づけ 第2回 第3回 第1回

このページでは、広島県の相談員研修の取り組みについてご紹介しています。

位置づけ

広島県がん医療相談員意見交換会の中での開催であり、任意の会です。

第3回

平成26年2月15日に実施された研修です。研修概要等については以下をご覧ください。
研修概要報告書 (PDF:211 KB)

第2回

平成25年10月19日に実施された研修です。研修概要等については以下をご覧ください。
研修概要報告書 (PDF:208 KB)

第1回

平成25年8月15日に実施された研修です。研修概要等については以下をご覧ください。
研修概要報告書 (PDF:148 KB)

このページの先頭へ

このページの作成にあたっては、プライバシーポリシー、リンク、著作権使用手続、著作権など

© 2010 独立行政法人国立がん研究センターがん対策情報センター

スライド

地域相談支援フォーラム

がん相談支援センターについてのQ&A

がん相談支援センター相談記録シートのご案内

がん対策情報センター作成「がんの本」のご案内(ちらし、ポスター、動画)

がんの冊子のご案内(9冊システム、ポスター、ちらし)

「もしも、がんが再発したら」【患者必携】本人と家族に伝えたいこと」見本添付とご協力をお願い

がん相談支援センター共通ロゴについて(ロゴ、紹介カード、相談員バッジ)

提言書のある方への情報提供支援について

北海道 秋田 青森 山形 岩手 福島 宮城 群馬 栃木 埼玉 茨城 東京 千葉 神奈川

地域相談支援フォーラム

がん相談支援センターについてのQ&A

がん相談支援センター相談記録シートのご案内

がん対策情報センター作成「がんの本」のご案内(ちらし、ポスター、動画)

がんの冊子のご案内(9冊システム、ポスター、ちらし)

「もしも、がんが再発したら」【患者必携】本人と家族に伝えたいこと」見本添付とご協力をお願い

がん相談支援センター共通ロゴについて(ロゴ、紹介カード、相談員バッジ)

提言書のある方への情報提供支援について

関連情報

19

地域相談支援フォーラム実施の背景

- 院内外への周知には、**がん相談支援センターが相互に協力**し合い、ノウハウを共有しながら活動を進めていくことが不可欠
 - 院内での個々の取り組みは他の施設でも援用可能、特に**組織体制、機能が類似した施設の取り組み**が参考になる
- 継続的な研修ニーズについては、地域毎（またその年度毎に）に異なるニーズがあり、**地域主導の研修が必要**
- 都道府県単位での研修会開催を支援**する目的で、**指導者研修シリーズ**を実施しているが、単独都道府県開催が難しいという声、複数都道府県にまたがった開催で解決できる課題もある

➔ **都道府県の枠を超えた「地域」の単位**での開催をがん対策情報センターが支援

「**地域相談支援フォーラム**」「**公開セミナー**」（平成24-26年度）

ブロック別地域相談支援フォーラム（試行版）の開催

地域訪問（拠点病院・県主管課）→ニーズ分析→ブロック単位での情報共有の必要性を認識

実施
内容

- ブロック内の相談支援センター（指導者研修修了等）
メンバーによる**実行委員会**構成
- ブロック内**県担当者**の参加
- **県内**および**他県**の好事例共有
- 県をミックスしたグループワーク
- 一般向け公開セミナーを同時開催



波及
効果

- ネットワーク構築（相談支援センター間、行政-拠点病院間、拠点病院-医療福祉施設間、県境を越えた広域）
- 好事例・先進事例の共有
- 相談支援センターの周知

活動の活性化・体制の均てん化

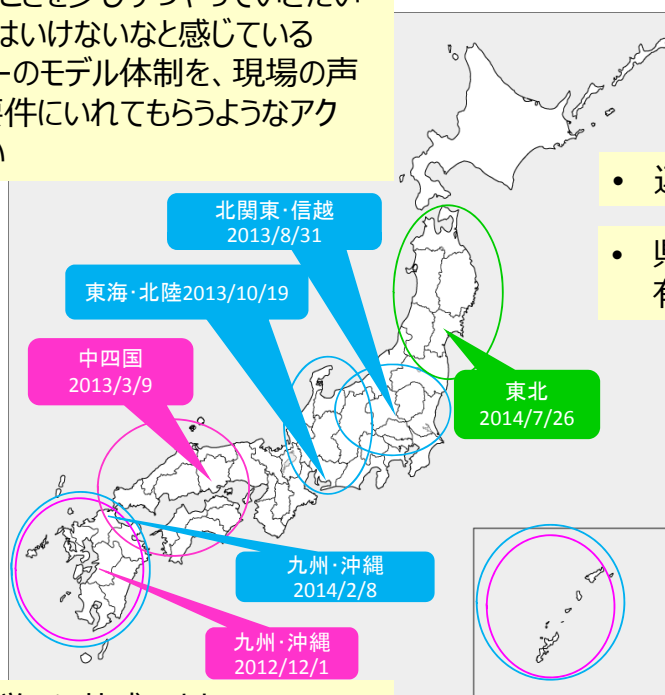
質向上の取り組み促進

利用者に役立つ相談提供

21

地域がん相談支援フォーラム （H24年度～H26年度）

- ・ 自分たちにできることを少しずつやっていきたい
- ・ 待っているだけではいけないなと感じている
- ・ 相談支援センターのモデル体制を、現場の声から作り、指定要件にいれてもらうようなアクションを起こしたい



- ・ 連携のネットワークができた
- ・ 県担当者と意見交換でき、有意義だった

- ・ 相談員が抱える悩みに共感できた
- ・ 同じように悩み、支えてもらえると心強く思った
- ・ 「相談員サロン」のように感じた



地域がん相談支援フォーラム

H26年度パイロット企画

- 企画・運営を都道府県の部会が主導、複数都道府県（ブロック）の相談員が参加する「地域相談支援フォーラム」
- 都道府県の部会（または拠点病院、都道府県）が主催し、相談支援センターの認知・活用を広げるための「公開セミナー」企画

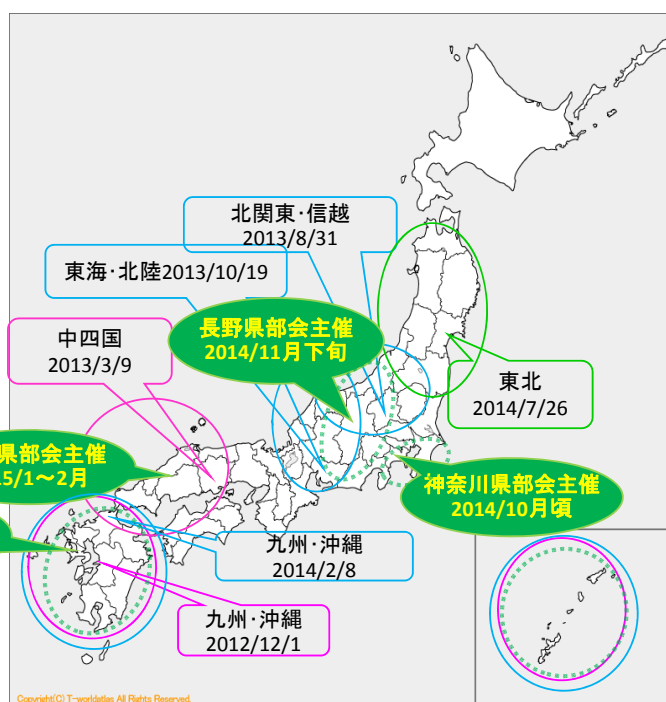
- ・ 平成26年4月3日～4月30日 公募
- ・ 平成26年5月16日 選考結果の通知

地域相談支援フォーラム

- ・ 神奈川県部会主催
- ・ 長野県部会主催
- ・ 長崎県部会主催

公開セミナー

- ・ 島根県部会主催



23

がん対策情報センターからのお知らせ

平成27年度以降の地域相談支援フォーラム企画募集について

- がん専門相談員の共通課題について、隣接する複数都道府県の実務者を対象とする研修を企画した部会に対して、共催者として支援・助成（**上限200万円**）
- 応募に際して（詳細は要綱参照）：**毎年度上半期中に企画募集と開催主体（2枠）を選考・通知**
 - 応募可能な開催主体：**「県がん診療連携協議会」**あるいはその傘下の**「相談支援専門部会」**、**部会長名義で応募**
 - **公募のポイント1**：従来の枠組みでは対応できなかったようなニーズに
 応える研修プログラムなのか、参加者構成等も含めた意義を整理
 - **公募のポイント2**：企画運営に協力してもらう**隣県の相談支援部会**と
 は、**予め相談の上、役割分担**を決めたうえで応募のこと
- 平成27年度の企画募集期間は、**7月4日～10月3日（金）17時迄**
- フォーラム企画評価委員会にて選考の上、10月20日（月）までに、
 全応募者に結果を通知します。

24

「がん相談支援センターを地域の支援の輪につなげる」 新企画募集について

- がん相談支援センターをより広く知ってもらうことに寄与する、画期的な参加型イベントやキャンペーンを企画提案した部会（施設、または都道府県）を共催者として支援・助成（**上限100万円**）
- 応募に際して（詳細は要綱参照）：**毎年（年度）上半期中に企画募集と開催主体（1枠）を選考・通知**
 - 応募可能な開催主体：**部会単位・施設単位**また**都道府県のがん対策主管課**による応募も可能
 - **公募のポイント1**：誰を対象として、何をどう伝えることで、**相談支援センターの認知度が向上**したり、あるいは**潜在的な相談者にとってより活用しやすいリソースとなる**のか、狙いと工夫を明示
 - **公募のポイント2**：「**やってみたいけれど独力では難しい**」「**思い切って企画したい**」、他の施設（地域）が**真似したくなるような独創的、斬新でインパクトと有効性のある企画**を歓迎
- 平成27年度分の企画募集期間は地域相談支援フォーラムに同じ

第3回情報提供・相談支援部会より都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会（親会）への提案

「がん情報提供および相談支援センターのさらなる機能強化に関する提案」

1. 新整備指針において加えられた都道府県レベルでの活動を充実させるため、都道府県がん診療連携拠点病院が都道府県下のがん相談支援センターを支援するために必要な事務局機能をもつこと、そのための体制整備が手当てされることを要望します
2. 相談支援に携わる者への研修の提供等、広域で取り組むことにより一層効果が高まると考えられる活動については、複数都道府県で主催する活動についても、単独都道府県において行う活動等同等に、都道府県がん診療連携拠点病院の正規の活動として位置づけられることを要望します